



献血推進！学生ボランティア！ ～高知県学生献血クロス倶楽部のご紹介～

近年、特に **10～30 代の若年層献血者が減少傾向** にあり、2009 年には全国で約 285 万人いた年代の献血者が、2018 年は約 180 万人と **10 年間で 37%も減少** しています。

全国の赤十字血液センターでは、若年層の献血離れについて、学生ボランティアの意見も取り入れながら、献血人口の増加に努め活動しています。

高知県では、高知県学生献血クロス倶楽部が活動しており、メンバーは大学・専門学校生の有志で構成されています。主な活動内容として、献血者が減少傾向にある夏季・冬季を中心に献血会場で呼びかけ等に協力してくれていますが、皆さんの知らないところでも大きく力を貸してくれています。

主に年数回の定例会や研修会及び、懇親会を通して楽しく活動していますが、中四国 9 県や全国の学生ボランティアが集まる会議への参加など、活動は多岐にわたります。



「若者の献血者数が増えますように」



他県の学生さんとの交流も深まります



実際の活動状況は、倶楽部の Twitter に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

Twitter のアカウントはこちら

@crossclubkochi



バーベキューで親睦を深めています

メンバー募集中（いつでも大歓迎です！）

高知県学生献血クロス倶楽部または高知県赤十字血液センター献血推進課（TEL：088-866-6667）にご連絡ください。



県内各地から
かわいいキャラクター達が集結
ご協力をお願いします！



今年成人を迎える
一日所長の濱田聖優花さん



今年もたくさんの学生さんが
協力してくれました



救急ワークステーション

高知赤十字病院は、高知市消防局と昨年2月15日に協定を結び、隣接する北消防署から救急隊及び救急車を病院へ派遣して行う実習、「高知市病院派遣型救急ワークステーション」を行っています。

「高知市病院派遣型救急ワークステーション」では、救急隊員が当院の医師、看護師から医学的知識や専門的技術を学ぶことによって病院搬送前の救急活動のスキルアップを行い、救急現場からの適切な対応による救命率の向上と後遺症の低減に繋げています。

具体的な内容としては、担当医師による講義や症例検討、産科救急や小児事案の対応などの専門医による講義、シミュレーターを用いた採血、静脈注射、気管挿管の練習などです。

また、救急隊に対し出動要請があった場合は、適宜、医師の判断でドクターカーに乗り救急車を追走して現場に向かい、救急隊員への指導や必要に応じて診療を行います。

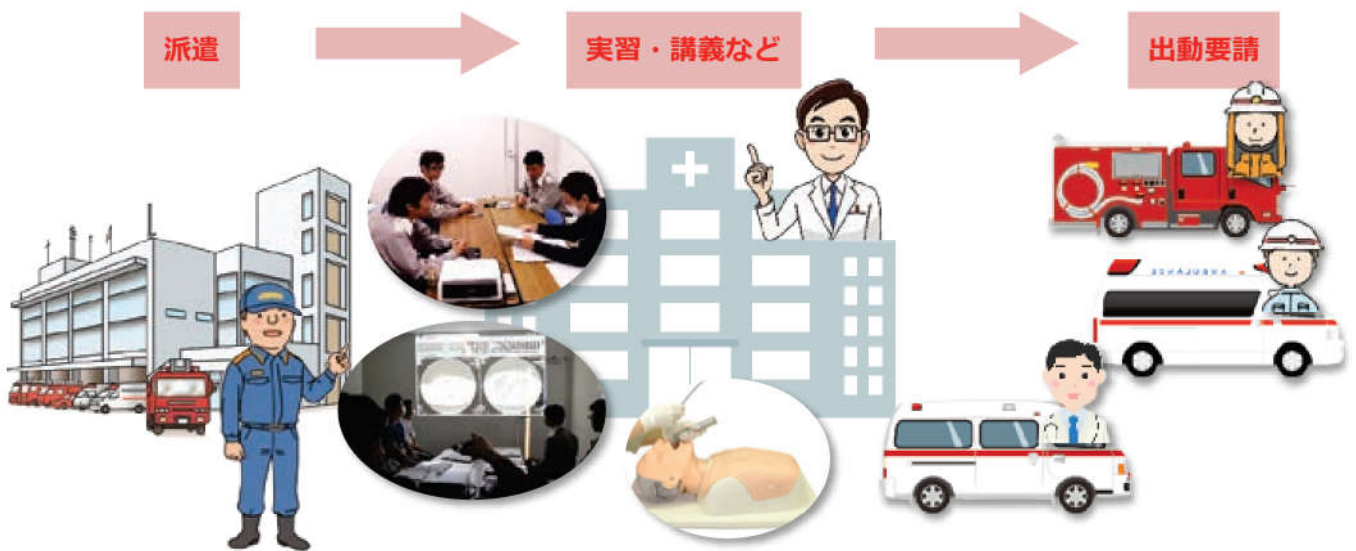
令和元6月5日 ～ 令和2年2月26日 実績



救急隊出動件数 73件のうち、



医師出動件数 26件



個々のスキル UP → 全体のレベル UP → 救命率 UP

「高知市病院派遣型救急ワークステーション」の効果



- ① 救急患者の救命率の向上
- ② 救急隊の救急活動の能力向上
- ③ 消防と病院のスムーズな連携